



2024年度・前半の振り返り

2024春闘開始宣言集会 新春旗開き

日時 2024年1月27日(土) 16:00～
場所 ラピタウェディングパレス「鳳凰の間」

【第一部】2024春季生活闘争開始宣言集会 16:00～16:30

昨年の春闘では「妥結額は一昨年最終期を上回る」結果となり率では2.51%でしたが、それを上回る物価上昇が続いている。すなわち実質賃金はマイナスが続いている状況となっており、2024春闘は物価高を相手にした闘いとなるため、連合島根事務局長 景山 誠 様から春闘方針を含め、今春闘に対する説明を受けました。

【第二部】2024新春旗開き 17:00～19:00

新型コロナウイルス感染症の拡大で、ここ数年旗開きについては中止や人数制限での開催でしたが、感染症の制限も無くなり飲食を伴にした旗開きを開催することが出来ました。(約70名出席)



連合島根中部地域協議会 第7回定期総会

日時 2023年11月25日(土) 14:00～
場所 ラピタウェディングパレス「寿輝の間」

(内容)

- 報告事項 ①2023年度 一般活動報告
②2023年度 一般会計報告
③2023年度 会計監査報告

- 議案 第1号議案 地協運営規則の改定
第2号議案 2024-2025中部地協運動方針(案)
第3号議案 2023年度一般会計収支余剰金処分(案)
第4号議案 2024年度一般会計予算(案)
第5号議案 2024-2025年度 役員改選について

定期総会ではこの2年間の運動を振り返るとともに、スローガン「社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～仲間の輪を広げ 安心社会を目指す～」のもと、連合島根の運動方針を基本とした「2024-2025年度運動方針」を確認した。

◇連合島根第18回定期大会において、大田地区会議を中部地域協議会に編入することが確認され、定期総会より大田地区会議の皆さんと共に活動して行きます。

2024春季生活闘争 勝利総決起集会

2024春季生活闘争は、『みんなで賃上げ。ステージを変えよう!』のスローガンのもと、「2024春季生活闘争勝利」の決意を内外に示していくため、各地区会議主催の総決起集会を開催し、集会アピールの確認と官公部門連絡会特別決議の採択、国際女性デーアピール(案)を確認した。各地区会議の開催状況は以下の通り。

【出雲地区会議】

日時 2024年3月21日(木) 18:30～
場所 ラピタウェディングパレス「寿輝の間」
参加 来賓4名、組合員 約180名

【雲南地区会議】

日時 2024年3月22日(金) 18:30～
場所 チェリヴァホール 大会議室
参加 来賓3名、組合員 約90名

【大田地区会議】

日時 2024年3月25日(月) 18:30～
場所 中国労働金庫大田代理店 2階会議室
参加 来賓3名、組合員 約60名



中部地協2024-2025年度役員体制

2024/6/1現在の地協幹事役員を紹介

| 役職 | 氏名 | 出身産別(備考欄は兼務役職) |
|-------|--------|-------------------------|
| 議長 | 西口 武志 | JR連合 (出雲地区会議議長) |
| 副議長 | 高橋 謙一 | 自治労 (出雲地区会議副議長) |
| | 須山 賢也 | JAM (出雲地区会議副議長) |
| | 岩谷 裕也 | 自動車総連 (出雲地区会議副議長) |
| | 松尾 由美子 | UAゼンセン (出雲地区会議副議長) |
| | 佐野 裕一 | JP労組 (出雲地区会議副議長) |
| | 上野 貴幸 | 電力総連 (出雲地区会議副議長) |
| | 渡部 達大 | 電機連合 (雲南地区会議議長) |
| 事務局長 | 松林 重雄 | JAM (連合島根専従) |
| 副事務局長 | 岸 悠介 | 自治労 (出雲地区会議副事務局長) |
| | 菅野 豊久 | 自治労 (雲南地区会議事務局長) |
| | 内田 大介 | 自治労 (大田地区会議事務局長) |
| 幹事 | 山本 祐司 | JP労組 (出雲地区会議副事務局長) |
| | 水戸 一也 | 運輸労連 (出雲地区会議幹事) |
| | 常松 彰人 | 交通労連 (出雲地区会議幹事) |
| | 柳楽 拓也 | 全水道 (出雲地区会議幹事) |
| | 堀 直子 | 全労金 (出雲地区会議幹事) |
| | 三原 篤司 | フード連合 (出雲地区会議幹事) |
| | 池田 和則 | 基幹労連 (出雲地区会議幹事) |
| | 坂根 駿太 | JR連合 (出雲地区青年女性委員会) |
| | 内藤 雄基 | 電機連合 (雲南地区青年女性委員会) |
| | 森山 烈 | 島根県JAユニオン (大田地区青年女性委員会) |
| 監事 | 田村 正和 | JR連合 |
| | 糸賀 敬子 | 全労金 |

【事務局より】
地協機関紙2024-2025年度初めての発行となりお詫び申し上げます。定期的な発行が出来るように努めます。



| | |
|---------------------------------------|-------|
| 連合島根中部地域協議会 | |
| 〒693-0002 出雲市今市町北本町1-1-3 セントラルビル4F | |
| 発行人 | 編集責任者 |
| 西口 武志 | 松林 重雄 |

第95回メーデー開催

中部地協各地区会議が主催した第95回メーデーは、「連帯の力で 平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる新たなステージ へ！被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう！」をスローガンに掲げ、「すべての働く者の「底上げ」「底支え」「格差是正」の実現」「働くことを軸とする安心社会の実現」に向け、メーデー宣言を参加者全員で確認した。各地区とも式典後に抽選会を開催しました。

各地区メーデー開催にあたり、ご支援・ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

出雲地区メーデー

日時 2024年4月27日(土)10:00~12:00
 場所 出雲市民会館大ホール
 参加 来賓・組合員含め240名
 来賓 連合島根副会長 岸本 武士 様
 出雲市総務部長 三原 潤哉 様
 島根県議会議員 岸 道三 様 (連合島根推薦議員)
 出雲市議会議員 板倉 一郎 様 (連合島根推薦議員)
 出雲市議会議員 大谷 良治 様 (連合島根推薦議員)
 労金出雲支店長 武田 浩司 様
 こくみん共済COOP
 東部支所長 谷岡 賢治 様
 共催 出雲地区労働者福祉協議会



雲南地区メーデー

日時 2024年4月25日(木)18:30~20:00
 場所 加茂文化ホール ラメール 大ホール
 参加 来賓・組合員含め160名
 来賓 連合島根 副会長 西尾 和孝 様
 雲南市議会議員 細田 実 様 (連合島根推薦議員)
 奥出雲町議会議員 大垣 照子 様 (連合島根推薦議員)
 労金出雲支店長 松井 昌之 様
 こくみん共済COOP
 事業推進部長 津村 景祐 様
 雲南労福協 会長 安部 潤 様



大田地区メーデー大会

日時 2024年4月27日(土)10:00~11:30
 場所 島根県立男女共同参画センター あすてらす(大ホール)
 参加 来賓・組合員(家族)含め約180名
 来賓 連合島根 副事務局長 松林 重雄 (会長メッセージ代読)
 大田市 副市長 船木 三紀夫 様
 大田市議会議員 柿田 賢次 様 (連合島根推薦議員)
 労金出雲支店 次長 中村 友美 様
 こくみん共済COOP
 西部支所 支所長 深江 祥教 様
 共催 大田地区退職者連合



【お知らせ】

1. 能登半島地震救援カンパ

各地区メーデーにおいて、能登半島地震救援カンパを実施したところ多くのカンパ金が寄せられました。ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

地協全体集計 50,754円 (累計116,004円)

【内訳】

出雲地区メーデー:22,473円

雲南地区メーデー:19,008円

大田地区メーデー:9,273円

託された浄財は、連合島根へ送金しました。

2. 機関紙の一部変更

第12号より、地協機関紙に「仲間の掲示欄」を設けました。友好団体からのお知らせや、産別・単組からの情報提供の場として活用願います。

* 活用については、地協事務局まで問い合わせ願います。

中部地協 『仲間の揭示欄』

第12号「揭示欄」2024/6/5発行

ろうきん特番

ろうきん運動の推進

「ろうきん運動推進の強化」 はたらく仲間の応援が必要！

連合島根第408回執行委員会(4/24開催)において、中国労働金庫北部エリア営業本部仲田本部長より事業推進に対する協力のお願がありました。

連合島根執行委員会として、組合員の幸せづくり・ろうきん運動推進強化の一環として取り組むことを確認し、中部地協として労金支店長に各地区会議の幹事会にご出席していただき、労金の現状と運動推進に必要な事項について説明をしていただきました。

地区会議幹事会として、「ろうきん運動の推進」について応援していきます。

5月21日(火)出雲地区会議 幹事会 武田支店長(出雲支店)

5月22日(水)雲南地区会議 幹事会 松井支店長(雲南支店)

*大田地区会議は、7月の幹事会で説明を受ける予定。

〈ろうきん〉

はたらく仲間がつくった金融機関

〈ろうきん〉は、はたらく仲間自ら作った日本で唯一の福祉金融機関です。敗戦後、経済復興を急ぐ当時の日本では、金融機関は国民から集めたお金の多くを、国や企業へ投資し、労働者に貸すことはありませんでした。

1950年、岡山県では岡山生協連の呼びかけから、兵庫県では労働組合の呼びかけから、「労働者のための銀行」として「労働金庫」が設立されました。

1966年に、アメリカの占領下にあった沖縄県に労働金庫が誕生し、これにより47都道府県すべてに労働金庫〈ろうきん〉が設立されました。

◇会員の皆さんが利用者であり、同時にオーナーでもある金融機関です。

私にもできるボランティア活動

中国ろうきん
NPO寄付システム

100円からできる社会貢献

連合島根は、NPO法人の支援を含む「社会貢献活動」に取り組んでいます。寄付金の口座振替によってNPO団体の活動を支援することができる「ろうきんNPO寄付システム」へのご協力をお願いします。

◇申し込みはお近くの「ろうきん各支店」へ



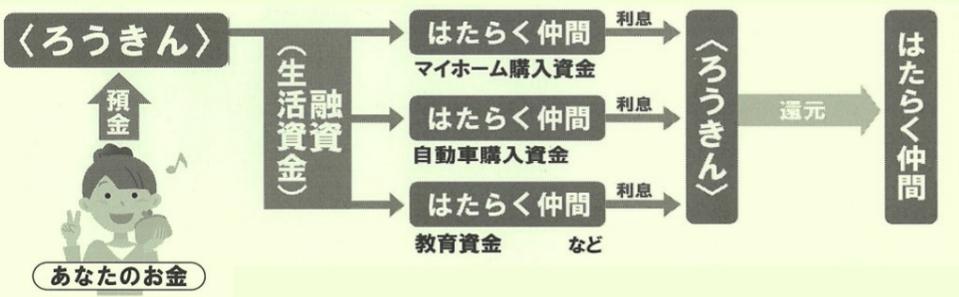
〈ろうきん〉預金の流れ

1. 〈ろうきん〉に預けたお金は？

はたらく仲間が預けたお金(預金)は、皆さんの生活資金融資などに役立てられます。また、余剰金は、はたらく皆さんへ還元されます。

2. 〈ろうきん〉に預けたお金の運用は？

ろうきんに集まった預金は、はたらく皆さんの生活資金(住宅ローンなど)やNPOなど地域・社会性の高い団体に融資され、得た余剰金はローン金利の引き下げやATM利用料のキャッシュバックなど、商品やサービス向上に利用されます。



本紙に掲載した「ろうきんの資料」は、許可を得たうえで掲載しています。